

## 奈良県よろず支援拠点第2回売上げ拡大セミナー 大盛況

この日、「奈良県地域産業振興センター」主催、近畿経済産業局、中小機構近畿本の共催でホテル日航奈良においてセミナーが開催された。会場は130名余りの参加者で埋め尽くされ、地元奈良テレビ、奈良新聞などマスメディアも多数取材に来ていました。

冒頭、「奈良県よろず支援拠点」(新規ウィンドウ表示)の松村二郎コーディネーターの挨拶とこれまでの活動報告がされました。そして、民間出身の実務経験豊富な7名のコーディネーターが対応するので、是非気軽にご相談にきてもらいたいとの意気込みを話されました。

第一部は、一般社団法人ノオト代表理事金野幸雄氏による「地域の歴史的建造物・食文化・生活文化を活かした新しい産業の創造」と題し、篠山地域の空き家を活用した新たな価値を創造するプロジェクトの成功例をお話しされ、売り上げ拡大のヒントにしてほしいと締めくくられました。

第二部は、当機構近畿本部刀根プロジェクトマネージャーと地域資源認定企業の「光洋製瓦」(新規ウィンドウ表示)代表取締役社長 笹田奈都子氏と「うまし宿 とと屋」(新規ウィンドウ表示)女将池田香代子氏による対談形式のセミナーが行われた。このお二人は、いずれもあるきっかけで主婦から社長と女将に転身。光洋製瓦は、姫路城修復工事に使われるなど、優れたいぶし瓦の技術をもつ、これまで瓦製造のみだったのが、技術を活かし今では1/3をインテリア、建築材への転身し、海外展開を図っている。女性ならではの視点で、成功の要因は、職人のことを第一に思い、これまでの取引先を大切にしてきたことにあるのではと熱く語った。

うまし宿の池田女将は、従業員のほとんどが女性、従業員と共有していることは、家族が泊りに来ているように接してほしいと、だから、接客のマニュアルはないと、とても明るい表情で語る。そして、感謝する心を忘れないよう全員でおもてなしの心を大切にしていると話した。

セミナーが終わると、会場には暖かい拍手がしばらく響いたのが印象的だった。



会場



テレビ局取材



セミナー



よろず支援拠点をバックアップすると語る  
小淵本部長

お問合せ先  
企画調整課 宮本、志岐(しき)  
電話06-6264-8611  
大阪市中央区安土町2-3-13大阪国際ビル27階